

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として
 「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療・保健・福祉を推進します。

八幡青樹会病院 季刊広報誌

平成19年7月1日 発行
 発行責任者 広報委員会
 地域連携室

青葉の風

第13号

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

梅雨明けももうすぐです。今年の夏は暑い夏になりそうと長期予報で伝えられています。
 暑さに負けず、元気いっぱいこの夏をすごしましょう。今回もいろんな話題をお届けします。

お知らせ 7月より外来診察医が変更になっております。

	月	火	水	木	金	土
1 診	由利	山枡	石倉	由利	山枡	山枡
2 診	山本	山本	齋藤	山本	石倉	石倉
3 診	廣田	水元	廣田	西田	濱名	廣田
4 診	濱名					濱名
内 科	浜本		小林	角野	大崎	芦原

7月より外来診察医が表のように変更されます。受診の際はご確認ください。

また、外来診療は初診再来共に完全予約制となっております。事前にご予約のうえ、ご来院ください。

青樹会創立記念日

総務課長 藤井 勝

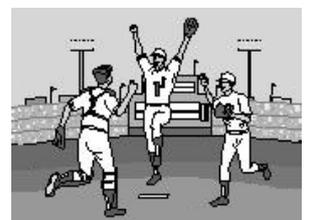


7月16日は財団法人青樹会の創立記念日です。今年は昭和27年の創立以来以来55周年を迎える記念の年でもあります。記念式典は7月9日に行ない、創立から今日に至るまでの関係者のご努力に感謝し、また財団発展に貢献した職員の表彰など行ない、財団の今後の発展を祈念する時を持つ予定です。

国民体育大会近畿予選の切符

野球部監督 二国 和良

5月26日、27日の両日、湖東スタジアムにて第62回国民体育大会滋賀県予選がおこなわれました。この滋賀県予選で当院野球部は、最強豪のタカタ株式会社を1-0で破り、8月に奈良県で行われる近畿予選の出場権を獲得しました。今年の国体は9月に秋田県で行われる予定です。近畿予選突破を目標に現在猛練習を行っております。皆様のご声援よろしくお願ひ申し上げます。



世界禁煙デー 5月31日

労働安全衛生委員会 木村 隆雄



WHOは毎年5月31日を世界禁煙デーと定めており、当院もその趣旨に沿い、当日は終日禁煙を実施致しました。引き続き、厚生労働省の定める5月31日から6月6日の禁煙週間についても、今年度より期間中の喫煙時間の短縮を実施し期間中は患者様、職員の多数のご理解のもとに協力をいただきました。

***** 精神保健福祉にまつわる Q&A *****

質問 高額療養費制度が変わったと聞きました。どのように変わったのですか？

= お答え =

高額療養費制度とは、1ヶ月の治療費に自己負担金が一定以上(負担限度額)の金額を超えた場合、超えた分を申請(手続き)することにより、払い戻される制度です。平成19年4月から、70歳未満の方の一医療機関における入院に係る高額療養費が現物給付化され、窓口での支払いが自己負担限度額にとどまるようになりました。このことにより、患者様(ご家族様)が医療機関の窓口で多額の現金をお支払い頂く必要がなくなります。申請の窓口は各保険によって異なります。また、70歳以上の方、同一保険証内で該当者が複数おられる方、保険料納付に滞納がある方等は、上記に限りませんので、詳しくは各申請窓口へお問い合わせ下さい。

～ 作業療法に参加して ～ (匿名希望の入院患者様より投稿いただきました)



私は1年ほど前から作業療法に参加しています。はじめの頃は、編み物でバッグを2つ作りました。編み方を知らなかったのが、教えてもらいながら編みました。それが編み終わったら自分のものにしていいなんて、思ってもいなかったのが嬉しかったです。一つは人にあげたのですが、よろこんでもらいました。

今は、それまで全然触ったことのないパソコンを一から教えてもらって、小説「勝海舟(一色次郎著)」の文書を打っています。マウスの使い方が分からないので、家に帰った時ひとりでできるか心配です。でも、キーボードを使って文章を普通に打てるようになったので、非常に嬉しいです。今の目標は、勝海舟についての文章を完成させたいです。

こころのエッセイ・・・シックスセンス? 医局員 西田 圭一郎

残念ながら、私の五感(古い言い方になりますが...。視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)は鋭い方ではなく、ましてや第六感(つまり虫の知らせ?)など感じた事はありません。大体、西洋医学を学んできている者として、感覚器として説明出来るものは頭で理解する事が出来るのですが、予知やら、靈感などが入り込む余地は全くありませんでした。



しかし先日、私の祖母が亡くなった時の事でした。その日は勤務後、同僚と雑談をしていたのですが、話しの流れで優しい祖母のちょっとした思い出話などもしていました。祖母はもともと遠くに住んでいたため、最近ではめったに顔を見る機会もなく、祖母の事を他の人に話すのはほとんどない珍しい事でした。

雑談を終え携帯電話の着信履歴を見ると、母からの着信が。かけ直すと「今、おばあちゃんが亡くなった」との事でした。高齢でしたし、体調も良いわけではなかったのですが、こんな事もあるのかと少し驚きました。毎日の生活に追われて、あまり祖母の事を考えていなかった不孝者な私ですが、フツと思い出した事で、懐かしいような、ありがたいような気持ちになりました。こんなシックスセンスなら悪くもないなと。みなさんもこの様な経験ありますか。

皆さまからのご意見、投稿など募集しております。詳しくは広報委員会までお尋ねください。